

令和7年3月6日(木)

令和6年度第2回日進市総合戦略推進委員会 資料

地域幸福度(Well-Being) について

2025年3月

下記3点についてご意見をいただきたい

- Well-Being指標を導入する場合の活用方法について。
- Well-Beingの考え方を踏まえ、産学官連携の視点からできることは何か。
- その他Well-Being向上のために行政に期待すること。

地域幸福度（Well-Being）指標の基本概念

Well-Being≒幸福度

多面的・持続的に良好（満足/幸せ）な状態を表す言葉です。

HappinessとWell-Being

Happinessも「幸せ」「幸福」などの意味を持ちますが、「うれしい」「楽しい」といった一時的な感情を示すことが多いです。

Well-Beingは感情ではなく、多面的で持続的な幸せの状態を表します。

地域幸福度（Well-Being）指標とは

地域の暮らしやすさと地域住民の幸福感を共通の指標で数値化・可視化したものが地域幸福度（Well-Being）指標です。

この指標は、**市民等へのアンケート調査結果を指標化する主観指標**、**各種統計データを指標化する客観指標**の二つの指標を活用します。

※指標はデジタル庁が活用を推進しています。

【主観】評価指標（全50問）

- デジタル庁が全国10万人（18歳以上）を対象にアンケート調査を実施。調査期間は令和6年5月
日進市の回答数は101件

地域における幸福度・生活満足度（4）

- 現在、あなたはどの程度幸せですか？
- 現在、あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか？
- 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。
- 自分だけでなく、身近な周りの人も楽しい気持ちでいると思う

生活環境（16）

医療・福祉（2）

- 医療機関が充実している（利便性）
- 介護・福祉施設のサービスが受けやすい

買物・飲食（2）

- 日常の買い物に全く不便がない（利便性）
- 飲食を楽しめる場所が充実している

住宅環境（3）

- 自宅には、心地よい居場所がある（居住空間）
- 【逆】自宅の近辺では、騒音に悩まされている（秩序）
- 適度な費用で住居を確保できる

移動・交通（1）

- 公共交通機関で好きな時に好きなところへ移動ができる

遊び・娯楽（1）

- 楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある

子育て（2）

- 子育て支援・補助が手厚い
- 子どもたちがいきいきと暮らせる

初等・中等教育（2）

- 教育環境（小中高校）が整っている
- 通学しやすい場所に学校がある

地域行政（2）

- 地域の行政は、地域のことを真剣に考えている（地域行政）（社会関係資本）
- 公共施設は使い勝手良く便利である（利便性）

デジタル生活（2）

- 行政サービスのデジタル化が進んでいる
- 仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい

公共空間（2）

- 地域の雰囲気は、自分にとって心地よい（相性）
- まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある

都市景観（1）

- 自慢できる都市景観がある

自然景観（1）

- 自慢できる自然景観がある

自然の恵み（2）

- 身近に自然を感じることができる（自然）
- 暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる（自然）

環境共生（1）

- リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである

自然災害（1）

- 暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている。

事故・犯罪（2）

- 防犯対策（交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい
- 歩道や信号が整備されていて安心である

地域の人間関係（2）

地域とのつながり（5）

- 私は同じ町内に住む人々を信頼している（社会関係資本）
- 地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである（社会関係資本）
- 困ったときに相談できる人が身近にいる（つながり・感謝）（社会関係資本）
- 町内の人が困っていたら手助けする（向社会的行動）
- このまちに愛着を持っている（一体感）

多様性と寛容性（5）

- 町内にはどんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある（異質性・多様性）
- 私は見知らぬ他者であっても信頼する（異質性・多様性）（過干渉・不寛容）
- 私は、町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる（一体感）（過干渉・不寛容）
- 女性が活躍しやすい
- 若者が活躍しやすい

自分らしい生き方（6）

自己効力感（1）

- 自分のことを好ましく感じる（一体感）

健康状態（2）

- 身体的に健康な状態である（健康）（地域の幸福）
- 精神的に健康な状態である（健康）（地域の幸福）

文化・芸術（2）

- 文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい（ダイナミズム・誇り）
- 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい（多世代共創）

教育機会の豊かさ（1）

- 学びたいことを学べる機会がある

雇用・所得（2）

- やりたい仕事を見つけやすい
- 適切な収入を得るための機会がある

事業創造（1）

- 新たなことに挑戦・成長するための機会がある（ダイナミズム・誇り）（モチベーション）

【客観】評価指標

● 各種統計データを指標化

生活環境 (16)

医療・福祉

- 医療施設徒歩圏人口カバー率
- 医療施設徒歩圏平均人口密度 (-)
- 人口あたり国保医療費 (-)
- 人口あたり後期高齢者医療費 (-)
- 特定健康診断受診率
- 福祉施設徒歩圏人口カバー率
- 福祉施設徒歩圏平均人口密度 (-)
- 人口あたり児童福祉施設数
- 人口あたり障害者施設支援数
- 人口あたり認知症サポーター・メイト・サポーター数

買物・飲食

- 商業施設徒歩圏人口カバー率
- 商業施設徒歩圏平均人口密度 (-)
- 可住地面積あたりの飲食店数
- 人口あたり飲食店数

住宅環境

- 住宅あたり延べ面積
- 平均価格 (住宅地) (-)
- 専用住宅1m²あたり家賃 (-)
- 一戸建の持ち家の割合

移動・交通

- 駅またはバス停留所徒歩圏人口カバー率
- 駅およびバス停徒歩圏人口密度 (-)
- 人口あたり小型車走行キロ (-)
- 通勤通学に自家用車・オートバイ・タクシーを用いない割合
- 職場までの平均通勤時間 (-)

遊び・娯楽

- 人口あたり娯楽業 (映画館、劇場、スポーツ施設等) の事業所数

子育て

- 保育所まで1km未満の住宅割合
- 可住地面積あたり幼稚園数
- 施設あたり幼稚園児数 (-)
- 人口あたり待機児童数 (-)
- 歳出総額における教育費の構成比
- 合計特殊出生率

初等・中等教育

- 可住地面積あたり小学校数
- 可住地面積あたり中学校数
- 可住地面積あたり高等学校数
- 施設あたり小学生数 (-)
- 施設あたり中学生数 (-)
- 施設あたり高校生数 (-)

地域行政

- 人口あたり体育施設利用者数
- 人口あたり図書館帯出者数
- 人口あたり博物館入館者数
- 地域財政指数

デジタル生活

- 自治体DX指数
- デジタル政策指数
- デジタル生活指数

公共空間

- 公園緑地徒歩圏人口カバー率
- 人口あたり公園の面積
- 歩道設置率
- ウォーカブル指数

都市景観

- 都市景観指数

自然景観

- 自然景観指数

自然の恵み

- 食料生産ポテンシャル
- 水供給ポテンシャル
- 木材供給ポテンシャル
- 炭素吸収量
- 蒸発散量
- 地下水涵養量
- 土壌流出防止量
- 窒素除去量
- リン酸除去量
- NO₂吸収量
- SO₂吸収量
- 洪水調整量
- 表層崩壊からの安全率
- 緑地へのアクセス度
- 水域へのアクセス度
- オートキャンプ場への立地

環境共生

- NO_x平均値 (-)
- PM_{2.5}年平均値 (-)
- ゴミのリサイクル率
- 人口あたり年間CO₂排出量 (-)
- 人口あたり再生エネルギー
- 環境政策指数

自然災害

- 外水氾濫危険度
- 高潮危険度
- 土砂災害危険度
- 地震動危険度
- 津波危険度
- ハード対策
- 避難・救助
- 要配慮者支援
- 防災教育
- 防災まちづくり
- 情報・デジタル防災

事故・犯罪

- 人口あたり交通事故件数* (-)
- 人口あたり刑法犯認知件数* (-)
- 空家率 (-)

指数を構成するKPIはP14~15を参照
*各都道府県・市区町村HP等から取得
(-)のあるKPIは高い方が偏差値が低く算出

出典：一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「地域幸福度 (Well-Being) 指標」

地域の人間関係（2）

地域とのつながり

- 人口あたり自殺者数 (-)
- 拡大家族世帯割合
- 既婚者の割合
- 高齢単身世帯の割合 (-)
- 居住期間が20年以上の人口の割合
- 祭り開催数
- 自治会・町内会加入率*
- 人口あたり政治団体等の数
- 人口あたり宗教の事業所数
- 人口あたりNPOの数
- 人口あたり都市再生推進法人・UDCの数
- 関係人口創出活動指数

多様性と寛容性

- 議会における女性議員の割合
- 自治体の管理職職員における女性の割合
- 自治体職員における障害者の割合
- 人口あたり外国人人口
- 多様性政策指数

自分らしい生き方（6）

自己効力感

- 首長選挙投票率
- 市区町村議会選挙の投票率

健康状態

- 健康寿命（平均自立期間）（男性）
- 健康寿命（平均自立期間）（女性）

文化・芸術

- 芸術家・著述家等の割合
- 国宝・重要文化財（建造物）の数
- 日本遺産の数

教育機会の豊かさ

- 大卒・院卒者の割合
- 可住地面積あたり大学・短期大学の数
- 可住地面積あたり国立・私立中高一貫校数
- 人口あたり生涯学習講座数
- 人口あたり生涯学習講座受講者数
- 人口あたり青少年教育施設利用者数
- 人口あたり女性教育施設利用者数

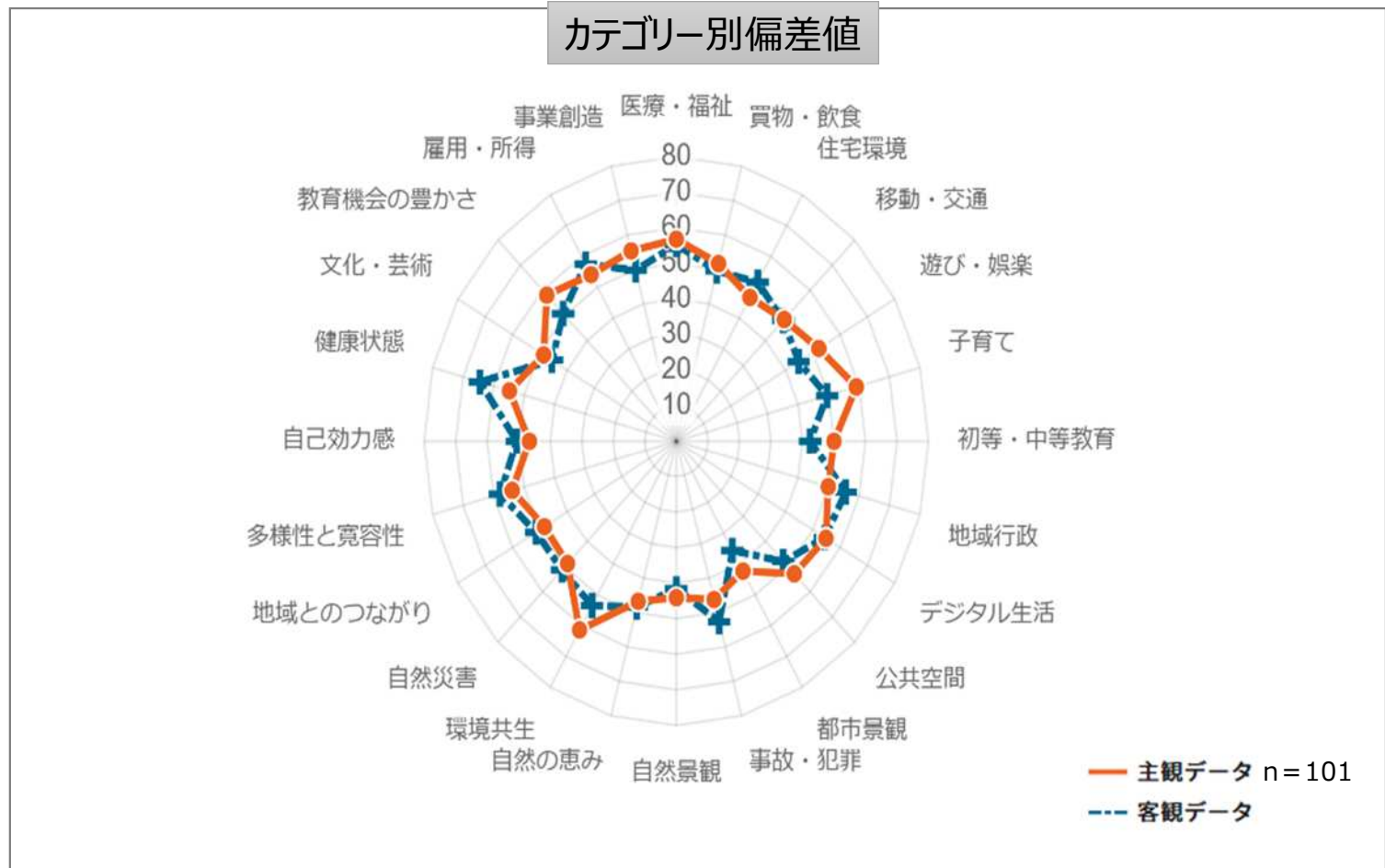
雇用・所得

- 完全失業率 (-)
- 若年層完全失業率 (-)
- 正規雇用者比率
- 高齢者有業率
- 高卒者進路未定者率 (-)
- 市区町村内で従業している者の割合
- 創業比率
- 納税者あたり課税対象所得

事業創造

- クリエイティブ産業事業所の構成比
- 新規設立法人の割合
- 従業者数あたりコワーキングスペースの数
- 大学発ベンチャー企業数

日進市のWell-Being調査結果



※今回は個別施策の内容には触れないため、参考程度としてご確認ください。

出典：一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「地域幸福度（Well-Being）指標」

まちづくりと幸福学の関係性

～地域政策と幸福学に関する研究論文の紹介～

雇用所得政策のうち、幸福度との相関が高いのは、「やりがいのある仕事や自分に適した仕事ができること」、「職場環境が快適に保たれること」、「収入や財産の不平等が少ないこと」である。すなわち、ここでの雇用所得政策とは、単に所得を増やすことでなく、仕事の満足度や所得分配の公平性が重要であることを示唆していると考えられる。これは所得格差の大きい地域で幸福度が低いという海外の先行研究とも整合的である。

また、地域活動や地域愛着など地域への関与はどの指標でも幸福度を高めており、ソーシャル・キャピタルの豊かな地域で幸福度が高いという先行研究と整合的である。さらに、地域交流に関する政策が地域活動や地域愛着を高め、それが幸福度を高めることにつながっていることが明らかになった。

すなわち、幸福度は直接的には、仕事のやりがい、所得、自然環境や住宅等に関する政策が影響し、間接的にはコミュニティ、防災・防犯、介護・福祉に関する政策が影響している、これらの施策の多くは基礎的自治体が担うものであり、基礎的自治体の施策が地域住民の幸福度に影響することが示された。

<引用>

高尾真紀子,保井俊之,山崎清,前野隆司,2018,地域政策と幸福度の因果関係モデルの構築 :ー地域の政策評価への幸福度指標の活用可能性ー,地域活性研究Vol.9, 55-64

論文全文はこちらから

https://lab.sdm.keio.ac.jp/idc/yasui/papers/j30_2018chiikikassei_takao_yasui.pdf

地域幸福度（Well-Being）指標の活用事例

浜松市の取り組み

- ・ 市で個別にアンケート調査を実施
- ・ アンケート分析結果を庁内共有、市民の幸福度と相関の高い因子を確認
- ・ Well-Being（幸福度）を考えるワークショップを開催
- ・ はままつWell-Beingアワードを設置
（企業や団体のWell-Beingに関する取り組みを表彰し、企業や団体の取り組みを促進することで市民の向上を図る）
- ・ Well-Being人材育成プログラム
（Well-Beingの概念や指標の測定方法を理解し、主観・客観の両データを活用することで、市民の幸福度や暮らしやすさの実感を高めるための政策をデザインできる人材の育成を目的とした研修プログラムを実施。）

草津市の取り組み

- ・ 総合計画に記載される110の施策において、Well-Being指標を活用
（総合計画の進捗を測るうえでの参考指標として活用する。目標値は設定せず、経年変化等を確認する。）
- ・ 市で個別にアンケート調査を実施
- ・ 健幸政策アドバイザー・未来戦略アドバイザーの設置

地域幸福度（Well-Being）指標の活用に向けて

日進市では

・ Well-Being指標について庁内研修（グループワーク）を実施

- ・ 日進市と他の自治体で指標を比較したグループワーク結果（一部のグループを抜粋）



| | | | | | |
|------|---------------------|-----------------------------------|------------------|----|-----------|
| 日進市 | 主観詳細 | 強み | 環境共生 | 弱み | 都市景観 |
| | 客観詳細 | 強み | 健康状態 | 弱み | 学校 |
| | 差が大きい項目 その理由（想定） | 子どもが多いが、学校数が足りない。自宅から遠いとアンケート結果 | | | |
| 鎌倉市 | 選んだ理由 | 都市景観・自然景観が強そうなところ | | | |
| | 主観詳細 | 強み | 都市・自然景観、地域とのつながり | 弱み | デジタル |
| | 客観詳細 | 強み | 健康 | 弱み | 自然景観 |
| | 差が大きい項目 その理由（想定） | 多くの項目で客観より主観が高い、自慢できるものがあって満足度高そう | | | |
| 長久手市 | 選んだ理由 | 近隣としてよく比較される。子育て世帯多く日進と似ている | | | |
| | 主観詳細 | 強み | 子育て、遊び娯楽 | 弱み | |
| | 客観詳細 | 強み | | 弱み | 小・中学、都市景観 |
| | 差が大きい項目 その理由（想定） | 全体的に主観が高い→市の強みのアピールが上手い？ | | | |

地域幸福度（Well-Being）指標の活用に向けて

研修の感想（一部抜粋）

「地域幸福度(Well-Being)指標ワークショップ」アンケート 申込集計表

| | |
|--------|-----------------------------------|
| 様式Ver. | 1 |
| 様式ID | 02235 |
| 様式名 | 「地域幸福度(Well-Being)指標ワークショップ」アンケート |
| 集計期間 | |
| 回答数 | 27 |

| | | | | |
|--------|-----------------------------------|-----------|-------------|----------|
| 単純集計項目 | 1. Well-Being及びLWC指標について理解できましたか？ | | | |
| 回答 | よく理解できた | だいたい理解できた | あまり理解できなかった | 理解できなかった |
| 回答数 | 6 | 21 | 0 | 0 |

| | | | | |
|--------|------------------------------------|-----------|-------------|----------|
| 単純集計項目 | 2. LWC指標活用ダッシュボードの使い方について理解できましたか？ | | | |
| 回答 | よく理解できた | だいたい理解できた | あまり理解できなかった | 理解できなかった |
| 回答数 | 4 | 22 | 1 | 0 |

| | | | |
|--------|---------------------------|--------|-----------|
| 単純集計項目 | 3. LWC指標について業務に活用できそうですか？ | | |
| 回答 | 活用できる | 活用できない | まだよく分からない |
| 回答数 | 5 | 0 | 22 |

・主観指標についてはアンケート回答数が少ない・ばらつきが大きすぎるため、現時点で、活用するのは難しいと思うが、回答数がある程度得られれば、客観指標と組み合わせることで有意義な指標になりうると感じた。また、アンケートの回答は聞き方（設問）によって傾向が大きく変わるので、結果だけを鵜のみにし十分な分析がされないまま活用するのは危険であると感じた。

・参加する前は、資料を読んでも内容がよく分からず不安でしたが、実際にお話を聞いたり、データを見たり、ワークショップをする中で、自分なりに少し理解することが出来た気がします。

・今やっている業務を客観的に捉えたり、他市の状況を見て考えることは新鮮でした。今は業務に追われてしまい分析等できていませんが、このような機会を作っていただけたため日々の業務を振り返ったり、他課の仕事との関連等を考えるきっかけになりました。今回は限られた時間でしたが、LWC指標活用ダッシュボードで他市の状況を見たり、活用していきたいと思います。

- ・ **Well-Being**指標は主観指標・客観指標を見える化したもので、自治体の特徴を捉える際に有効。
- ・ 自治体の施策は地域住民の幸福度に影響する。
- ・ 他自治体ではワークショップを通して幸福度について共有しているケースがある。
- ・ 市民、企業、団体、行政の協力で効果の向上が見込める。

<市の考え>

総合計画に掲げる将来都市像「ともに暮らす 私たちがつないで創る 人とみどりを大切にすまち 日進」の実現に向け、**Well-Being**指標を点検ツールの一つとして検討していきたい。